



l'existence précède l'essence (実在は本質に先立つ)

◆ 健康診断と定期試験 ◆

突然ですが、私は40歳の時に受けた健康診断で人生初の“C判定”になってしまいました。具体的には 血糖値の基準値オーバー + ウェスト85cm ジャスト = メタボリックシンドローム だそうです。その日から一念奮起して徹底した食習慣の改善とランニングなどの運動を取り入れた生活を継続すること数カ月、次回の健康診断は“A判定”に変わっていました。(ウェストも80cm未滿に減少)。ちなみにその後の油断+コロナ禍によるステイホーム生活で元に戻りつつありますが...

3年次主任の^{おおかんだ}大神田先生によると、「テストの結果は健康診断」といわれているそうです。だとすると、上記のエピソードは以下のように変換できます。

第3回定期試験で人生初の30点未滿。具体的には、数学Iの三角比の基礎がまったくわからなかった。その日から一念奮起して ①授業に真剣に取り組む ②授業で分からないことは先生に質問する ③復習として問題演習して自分の力のみで解けるようにする を継続し、次回の第4回定期試験ではなんと80点。こんな感じです。

ここで、なぜ私が一念奮起できたか考えてみましょう。答えはC判定=赤点をとったからです。しかしその前にその兆候、B判定=50点という段階があったはずですが、その診断を受けても「まいった」にして、改善点は示されていたにも関わらず、無視してしまっていたので、どん底寸前まで落ちてしまったのです。つまり本当の危機は、危険の兆候 - B判定、良いとはいえない診断を受けたときに「まいった」にしてしまうことにこそあります。

健康も学力も積み重ねのものです。徐々によくなったり、徐々に悪くなったりします。一度悪くなったものを理想にまで引き上げるには膨大な時間と努力が必要で、近道に見えて実はとても遠回りです。そうなる前に、みんなの教科指導を担当する先生による学力診察である定期試験を通して、危険の兆候をいち早く察知し、すぐに行動を改善しましょう。

定期試験の意義は、試験範囲におけるあなたの学習の到達度を診断し、今後の学習行動の改善の指針を示すためにあるのです。前出の大神田先生は、定期試験の「お宝度合い」を右表のように示しています。

お宝度合いチェック

- × 答案を見て一喜一憂
- × 間違えた問題の正解を確認し、書き写す
- △ 間違えた問題を解きなおす
- 間違えた問題を分析
 - 教訓を出してから理解する
 - 解き直す

◆12月の予定◆

日	曜	行 事	備考
1	水		
2	木	眼科検診	
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	5短	
9	木	東京都立大学訪問(SA)	3年私立大志望校検討会
10	金		3年私立大志望校検討会
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	三者懇談(午前中授業)	授業がなくなる午後に有効に使えるようにしましょう
21	火		
22	水		
23	木		
24	金	全校集会 年次集会 収め式 LHR 大掃除(ジャージ持参) SA学習会(午後)	1日3時間の学習時間を確保しましょう&家庭でのコミュニケーションも大切にしてください
25	土	SA学習会(午後)	
26	日		
27	月	冬期休業(~1月6日)	
28	火		
29	水	学校完全閉庁(~1月3日)	
30	木		
31	金	大晦日	

◆保護者の皆様へ◆

いつの間にか師走です。12月20日から23日の三者懇談は、来年度の履修登録を確認していただいたり、お子様の学校やご家庭での様子を共有する機会とさせていただければと思います。ご足労お掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。